

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: ユー・エス・ビー株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営理念は明文化しており、会社のミッションは取引先と外部パートナーに随時説明して、意味を共有している。									8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守はインターネット上では特にセンシティブで厳守すべきものとして、受託業務の運営時や企画提案を通じて、社内と、顧客への啓発を行っている。																		16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・業務委託先等に対し、不当な値引き圧力を行使しないようチェックしている。 ・顧客に対し自社の業務価値を説明し適正価格への理解を求めている。											10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・代表者を責任者としている。 ・外部パートナーに対し、我々の事業活動が各種事例に照らしつつ、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)について相互確認している。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権などの侵害排除については、業種ごとに原稿を精査し、表現や使用を規定し、疑義がある場合は都度確認している。 ・知的財産に関する研修を受けている。								8.2 8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・サーバーは暗号化や技術的ネットセキュリティ対策で保護し、端末はウイルスソフト等で保護しつつ情報漏洩防止を徹底している。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・経営者団体活動や会社業務を通じて得たステークホルダーの要請や期待、関心、評価などを理解して企業活動に反映させ、地域社会の課題解決につなげていく理念構築やビジネスモデル変革を継続して行っている。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先とはチャットワークを用いてコンプライアンスの徹底や個人情報保護、ガバナンス強化、持続可能性について情報共有、相互理解、意識の共有を随時図りつつ行動を共にしている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・地震の経験を踏まえBCP入門編を策定し、避難行動を把握している。 ・【予定】令和4年12月までに事業継続力強化計画を策定し、認定を受ける。										9		11			13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスメントの表現について調査し、法規やネット事例を提案書に定めて、事前にクライアントに啓蒙している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・長時間労働や深夜残業は原則禁止とし、心身の健康維持に努めている。 ・2時間毎に作業休憩を義務付け、メンタルヘルスマネジメントを行なっている			3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・現在従業員はいないが、募集・採用時には同一労働同一賃金ガイドラインを理解し、公正な待遇を行えるよう体制を整えている。					5.5				8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・業務効率化による労働時間の短縮を推進し、仕事と家庭への適切な時間配分ができる環境を整えている。			3		5.5				8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・ITスキルの習得や、コンサルティング能力向上のため必要経費を予算化して、外部研修の受講や各種資格取得を奨励している。				4	5.5				8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員と家族の健康維持向上のため、年1回健康診断受診を義務化しており、また健康診断や各種予防接種の経費補助を行っている。 ・年間10日のリフレッシュ休暇を付与している。						3			8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・仕事において、年齢や性別、人種、障害、経験などの違いによる業務上のいかなる差別等も行っていない。					4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・感染症対策に関する国や県が定めた規定を遵守している。 ・テレワークやオンライン会議を推奨し、やむを得ない対面打ち合わせの際には窓開け、換気などを徹底している。							3			8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・DXの多くの事例を分析・応用し、WEBを活用したより高度なマネジメントとマーケティングを実現するシステムを企画・開発している。 ・コミュニケーションを電子化し、業務改善と効率化を行っている。										8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●												3	4				8	9			12

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・社内でのゴミの分別等を徹底し、適切な廃棄物管理及び回収処理に取り組んでいる。			3.9						11.6	12.4	14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・新電力のWeb管理サービス等を用いてエネルギー使用量を算出しており、省エネ家電やLEDの使用や、まめな消灯を徹底して、オフィスの節電に取り組むとともに、車両は環境配慮型車両にしている。											13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・社内空調設備の設定温度を季節毎に工夫して設定し省エネを遵守している。 ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、移動時は公共交通の利用推進、低燃費社用車でのエコドライブを徹底している。			2.4								12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・事業の活動において廃プラやレジ袋などの使用削減と分別廃棄の徹底、また、バイオマスマークやレインフォレストアライアンスマーク製品の優先利用をつうじて、生物多様性の保全に努めている。													14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・再生用紙の利用推進、ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・事業所内のゴミの分別を徹底して環境配慮を意識づけしている。 ・購入時にはレジ袋削減の一環でエコバック持参を呼びかけている。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・事業所内には上水に節水蛇口を使用したり節水トイレ等を装備して、水資源の保全に取り組んでいる。 ・依山の同友の森で、定期的に植林活動に参加している。			2.4							11.5			14.1 14.2 14.3	15	17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・名刺、郵便、メモ等にはRマーク再生用紙の利用を推進している。 ・NETFAX導入や資料のPDF配布によるペーパーレス化を促進している。 ・機器や什器にも極力リサイクル製品の購入に努めている。							9.4				12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2										12.3	14	15	17	
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・自社エントランスに花壇を設置し、定期的にメンテナンスしている。										11.6 11.7			13.1 13.3	15	17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●															13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●															11.3 11.4 11.5	12.2	13	15
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●	・熊本県中小企業家同友会に所属し、南阿蘇村依山、同友の森での植林等の森林整備活動に参加している。														11.3 11.4 11.5	12.2	13	15
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	・マイバック、マイ箸、マイボトルを持参し、プラスチック製のレジ袋、ポリ袋、スプーンやフォーク、またストローは極力使用しないようにしている。 ・再生プラスチックや詰め替え可能製品を使い、廃棄を減らしている。														12.2 12.5		14	
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4	11.2			13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																		17.2	

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	・Webサービス公開時に起こり得るリスクの洗い出しと対策は常に想定している。 ・提供するサービスの質を確保するためWチェックを行なっている。	3.9							9		12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	・Webのデザインにおいて、ユニバーサルデザインを考慮している。 ・障害者や高齢者の利用に配慮し、フォント種類やサイズ、行間、構成配色に配慮し、読上げソフト対応や視覚効果の改善を行っている。								9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●						7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●						7						12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●	・所属団体にて、Web活用講座やSDGs啓蒙セミナーを開催している。 ・災害ボランティアに参加している。 ・地方創生の一環として地場産品の拡販企画立案に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●									8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15	17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・地域事業者として、居住地域の活動に参画するよう心がけている。 ・災害発生時や学童支援の為にボランティアや寄附を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・ハザードマップや避難場所を確認している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●	・顧客や関係先に対し、SDGsの普及啓発やセミナーを行っている。 ・社内でSDGsに関する研究資料を作成することで、SDGsの社会的意義やビジネスチャンスとしての価値、普及の重要性が理解されている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5			8.6		10.2		12	13	14	15		17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。